

Nichiren Shu News

Published by the Head Office of Nichiren Shu Buddhism & NOPPA

No. 238

June 1, 2020

1

An Important Message from the Editor

『編集者より』

コロナウィルスの影響により国際郵便にも支障が出ております。英文ニュース6月号(238号)はNBICのHP (<http://nichiren-shu.org/news/>)にてPDF形式で閲覧ください。郵便再開次第、郵送いたします。

Practicing the Bodhisattva Way in This Time of Crisis

By Rev. Daiei Matsui

『新型コロナ危機における菩薩行』

新型コロナで不安が増し、他人への不信任が募り、我慢を強いられストレスになっています。このような時に大切なのが、「法華経」の第24章不軽菩薩品で説かれる「人の為に行動すること」です。ウイルスを人にうつさないことが菩薩の行です。菩薩の行とは、我慢することではなく、仏になるための積極的行動なのです。「私達は皆さんを信じています。ウイルスを人にうつさないことを皆でやりませんか。」これが今求められる姿勢であり、菩薩の行といえます。



Minobusan and the Coronavirus

By Rev. Shinkyō Warner

『身延山と新型コロナ』

2月18日身延山を訪れた。朝勤の後、御廟所、御草庵後を参拝した。疫病や飢餓、台風、戦、迫害にあった宗祖から何を学びとればいいか。法華経で説かれる良薬と、他人の為になることをする菩薩行の実践だ。「行学の二道をはげみ候べし。我もいたし人をも教化候へ。力あらば一文一句なりともかたらせ給ふべし。」と仰っている。



Welcome Sri Lanka

By Rev. Kanjo Bassett, Shumuin

『スリランカ僧伽』

3月25日スリランカ僧伽が認証された。2013年12月より東南アジアの国際布教師がスリランカを訪れて以降、定期的に現地に行き、信徒宅で法要を行い、スリランカからも東南アジアのイベントに参加して交流を深めて来た。今後は寺院を建立することが目標だ。



Nami-Daimoku on Niijima Island

By Rev. Kosei Uchida

『新島波題目』

伊豆七島の「新島」と「式根島」は日蓮宗のお寺しかない。新島は海上交通の要所であり、現在人口は2000人位。メンバーは何百年と法華経のお題目を支えに生活している。島の人達が唱えるお題目は「波題目」と呼ばれる。波のうねりや、引いては返す波のようにお題目を唱える。代々口頭で受け継がれてきた。

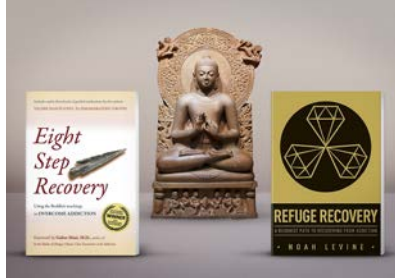


Dharma-based Recovery

By Rev. Ryuoh Faulconer

『中毒者の仏法による回復』

薬物やアルコール中毒、その他あらゆる中毒・依存者のために、仏教の八正道の教えを以て回復を促す書物が刊行されている。当教会でも週2回法会を開いて八正道の教えを通して回復に役立てたい。



Protective Deities in Nichiren Shu (2) Shichimen Celestial Maiden

By Rev. Sensho Komukai

『日蓮宗の守護神(2)～七面大明神』

11世紀に巖島姫が一の池の水をかぶって病気を治した。その後竜神となり、1277年日蓮聖人の説法の場所に現れ自分の本地は七面天女と明かし、法華経行者を守護すると誓う。1297年9月19日、波木井公と日朗上人が一の池から現れた七面天女を目撃し、この日を七面山の縁日として毎年大祭を行っている。



A Thousand Times Dharanis

From Nichiren Shu Shimbun

『千巻陀羅尼』

江戸の神社仏閣の年中行事を記した『東都歳時記』には江戸時代の日蓮宗寺院で千巻陀羅尼が修され、法華信徒で賑わったと伝えている。千巻陀羅尼の起源は天文法難に由来する。1536年比叡山延暦寺の僧兵らが京都の日蓮宗21本山を焼き払った。大阪堺の寺に避難した京都の僧侶檀信徒が呪陀羅を千巻読誦して、いつか京都へ帰れる日が来るのを願った。読経の効験あって6年後帰洛が許可された。

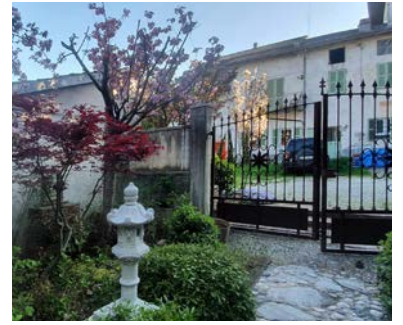


Renkoji Temple, Italy

Rev. Shoryo Tarabini

『イタリアのコロナ現況』

新型コロナの影響で国中がロックダウンし、礼拝はネットを通して行っています。



Singapore Daimokuji Temple

Rev. Keiji Oshima

『感謝』

3月31日6年半の開教生活を終え、日本に帰国しました。メンバーの皆さまには本当に感謝いたします。



Honolulu Myohoji Temple

Rev. Takamasa Yamamura

『祈願』

観世音菩薩へ祈願することによってあらゆる困難から逃れることができます。観音様を信じてお祈りをして下さい。

Nichiren Mission of Hawaii

Rev. Shokai Kanai

『コロナ対処法』

信徒家族全員を守るのが私の使命です。3月は加持祈禱や唱題行で心を強く持つよう祈願しました。

Southeast Asia Sanghas

Rev. Ervinna Myoufu

『東南アジアでのコロナ状況』

新型コロナの影響で教会全ての活動はオンラインで行っています。一刻も早い終息を願っています。

